

平成21年9月議会一般質問

<質問>

過日の公明党、秋山議員の代表質問に続きまして、市政全般にわたって質問をいたします。

まず、今回の衆議院議員選挙の結果は、私も厳粛に受けとめております。しかしながら、生活現場の真ただ中に飛び込んで、市民の皆様のお声をお聞きし、行政につなげていく我々公明党の地方議員の使命はいささかも変わるものではないと確信しております。

今回は改めてこの原点に立ち、自分の住んでいる身近な地域での課題を取り上げ、質問をさせていただきます。

最初に、安全・安心のまちづくりの観点から、二点ほどお伺いいたします。

まず、**大規模災害発生時における物資搬入路の確保**についてであります。

発生が確実視されている東海地震や直下型断層地震など、大規模災害に対して市民の安全・安心を確保することは今後も重要な課題であることは言うまでもなく、防災訓練等を通じて地域全体の防災意識を高め、非常時に備えているところです。

私の住んでいる新田地域でも、昨年自主防災マニュアルに沿って初めて避難所体験訓練を実施しました。避難所に指定されている新田小学校体育館に毛布1枚を持参して避難し、実際のスペースを地域の方々に体感していただくとともに、避難所生活の心構えを肌で感じていただきました。

こうした訓練を通じて改めて浮かび上がった課題が、物資搬入路の確保です。大規模災害時にはライフラインの寸断、家屋倒壊等が予想され、避難所生活も救援物資等に頼らざるを得ない状況にあります。

しかしながら、新田地域は道路が狭隘で、避難所となる新田小学校へは大型車両の進入が困難な現状があり、地域住民の孤立の不安さもあります。同様の状況は、市内の他の地域にもあると思われませんが、安全・安心な市民生活の確保の上から、非常時の物資搬入路について具体的な対策を講ずべきと考えます。この点について、当局の御所見をお伺いします。

第二に、**市道の安全な通行の確保**についてです。新田地域は西ブロックの中であって、県下最大の県営貢川団地を有する住宅地域です。かつて子育て世代が多数入居し、児童・生徒数の大幅な増加から、新田小学校、富竹中学校が二十数年前に設置され、少子高齢化の進行により児童数は減少しているものの、地域の大部分の子供たちは元気に新田小学校、富竹中学校に通っています。

両学校の通学路として、子供たちが毎日通行している市道竜王下河原長塚線は、一級河川貢川で隔てられている新田地域と美術館通りをつなぐ命綱的な道路であり、また、美術館通りと飯田通りをつなぐバイパス的な道路として朝夕の通勤時間帯は交通量が非常に多く、子供たちはわずかばかりの路側帯を身を縮めながら通行しています。

これに加えて、甲斐市方面から自転車で東海大学甲府高等学校、城西高等学校、甲府西高等学校へ通う生徒も当該市道を利用しており、朝の通勤通学時間帯は自動車、自転車、歩行者であふれんばかりの状況です。通勤通学時間帯以外でも、当該市道を通って美術館通りにある医院に歩いて通院する地域のお年寄りが多数いらっしゃいます。

こうした状況を見るにつけ、いつか大きな事故が起こらなければいいかと祈るような毎日です。地域でもPTAや安全・安心ボランティアの見守りにより、登下校時の児童・生徒の安全確保に心を砕いているところですが、もう少し歩行スペースがあればという声がしばしば聞かれます。

児童・生徒、さらには、高齢者の安全・安心の確保の上から、ハード面での対策が必要と考えますが、御所見をお伺いします。

甲府市が進める協働のまちづくりの上から、地元ではアダプト制度による池田公園の清掃管理、児童の登下校の見守り活動など、まちづくりに当たって自分たちでできることは自分たちの役割として精いっぱいこれを担ってきたところです。しかしながら、ハード整備の点はどうしても行政の手をかりなければ実現困難なものです。この点をぜひとも斟酌願えればと思います。

次に、**公園管理のあり方**についてお伺いいたします。

新田地域に所在する池田公園は、その広さと豊富な緑とで多くの人に親しまれている市内でも有数の公園であり、地元にとって貴重な資源です。

常駐していた管理人が撤退した後の一時期、雑草の繁茂などにより荒れていたこともありましたが、しかし、割れ窓理論のとおり、汚れたままにしておくごみのポイ捨てが増えたり、ホームレスが住み着いたりするなど、ますます環境が悪化したことから、地元自治会連合会が立ち上がり、アダプト制度により地元住民が清掃管理に参加するようになって4年余りが過ぎようとしています。今ではすっかり定着し、毎月の定例清掃のほか、地域の老人クラブによる草取り、グラウンドゴルフ等で公園を利用する住民による芝刈りなど、随時自発的に清掃を行う住民が増えています。

自分たちの地域にあるこの貴重な資源を自分たちの手で守り育てようという愛着心が地域に浸透してきた感があり、その結果、池田公園をより清潔で魅力ある、なおかつ、安全な公園にしようと、さまざまな御意見等が寄せられるようになりました。

昨年は、樹木の枝の繁茂により見通しの悪さや、夜間、街灯の明かりがさえぎられることなどを指摘する声があり、その都度当局と協働して枝の剪定や間引きなどにより解決してきたところです。

本年3月には青年会議所の御厚意により、青色防犯灯をつけていただき、情緒あふれる明るい公園になりつつあります。

こうした中、今最大の課題として、芝生広場の雑草広場化があり、これに伴うペットのふん害があります。私も実際芝刈り機を借りて何度か芝刈りをしましたが、芝刈りという

より雑草刈りであり、また、犬のふんを踏んで言いようのない気まずい思いをしたことがあります。先ほどの割れ窓理論から、芝生の張り替えにより清潔にすればこうしたふん害も減少するのではないかと考えるところであります。

芝生の張り替えと聞けば、コストが高く、維持管理が大変と連想しがちですが、最近「鳥取方式」と呼ばれる低コスト・低維持費のポット苗移植法が注目を集めています。この方式によれば1平方メートル当たりの施工費用が100円程度、維持管理も専門業者でない一般の人でも可能で、1平方メートル当たり50円から150円程度と、極めて低コストで芝生化が可能となるそうです。

そこで、この方式による芝生張り替えを池田公園でモデル的に実施することを提案したいと思いますが、当局の御所見をお伺いいたします。

最後に、ミックスペーパーの回収についてお伺いいたします。

平成18年4月からのミックスペーパーの分別回収は、より一層のごみの分別意識を高め、循環型社会実現に向けた優れた取り組みであると高く評価するところです。

収集日は一部の地域で毎週というところがあるものの、月2回というところが圧倒的に多い現状があります。

私も長い団地住まいの経験から、有価物、不燃物などが1か月の間にあっという間にたまり、また、紙類も同様で、狭い団地ではため置きするスペースに困るほどでした、収集日に出し忘れたときはまさに悲惨な状況です。昨年団地から転居してからは、状況は少し好転したところですが、せめてミックスペーパーの回収日がもうちょっと増えてくれれば、我が家のごみ事情も飛躍的に改善するのにと思うことがしばしばです。

今、高齢化が進み、団地でのひとり住まいの高齢者が年々増えている状況の中で、ため置きするスペースがないことや、一度にたくさんの量を集積所まで運ぶことが大変な負担となることから、せめてミックスペーパーくらいはたまる前に小まめに出したいと思っ

ている方が多いように思います。こうしたことから、ミックスペーパー回収日の拡大について、当局のお考えをお伺いします。

以上で第一回目の質問を終わります。

## <答弁>

○市長 兵道議員の御質問にお答えをします。

ミックスペーパー回収回数拡大についてであります。

ミックスペーパーの分別回収につきましては、ごみの減量施策の一つとして、平成18年度から一部地域を除き月2回の回収日を設定し、市内全域で実施をしております。

この間、毎年微増ではありますが、着実に回収量が増えてきています。本年度はさらに回収量の増加と周知の徹底を図るため、前年と比較してミックスペーパー回収量増加

率の高い六つの地区について表彰する顕彰制度を実施いたします。

また、本年10月からの指定ごみ袋制度の開始に伴う各地区説明会での啓発活動や、制度開始後の分別意識の向上による回収量の増加も期待するところであります。

御指摘の回収日の拡大につきましては、現在開催をしております甲府のまちづくりを語る会や、指定ごみ袋制度の説明会におきましても、市民の皆様方からミックスペーパーの排出機会を増やしてほしいとの多くの要望が寄せられております。

こうしたことから、現在全市域での毎週回収について検討を重ねております。なるべく早い時期にそういう状態にしたいものだと思っています。御理解を賜りたいと思っております。

他の御質問につきましては、担当関係部長から答弁をさせます。

以上です

○都市建設部長 都市建設部にかかわります三点の御質問にお答えします。

最初に、非常時の物資搬入路の確保についてであります。

災害時における被災者の避難ならびに対策要員、被災者への支給物資などの輸送に迅速・確実を期すため、火災、家屋倒壊などが発生したことを想定して搬入路を整備することは大変重要なことと認識をしております。

現状の市道新田小学校東通り線につきましては、一部国道52号線との交差部においてスムーズな通行に支障をきたしている状況があることから、地権者との協議を行う中で、隅切りなどの改良工事を実施し、円滑な物資搬入路の確保を図ってまいります。

次に、市道の安全な通行の確保についてであります。

安全で安心な道路整備につきましては、自動車、自転車、歩行者の通行帯が分離されて通行できることが理想であると認識しております。しかし、道路の整備は地域の状況において用地取得や建物補償など、沿線地権者の合意形成や費用対効果など、総合的な判断が必要となります。

市道竜王下河原長塚線につきましては、市道拡幅要件であります4.75メートル以上の幅員が確保されており、市道としての機能は満たされていると考えております。御指摘の箇所における歩行スペースは、現在センターラインやグリーン塗装が施されておりますが、歩行者の安全確保が図られるためには、さらなる改善、工夫が必要でありますので、今後交通管理者と協議を行ってまいります。

最後に、公園管理のあり方についてであります。

本市では、現在58か所の公園、緑地、広場の樹木整枝剪定、病害虫の防除及び清掃などの維持管理を行い、環境整備に努めております。また、自主的な美化活動を目的とするアダプト制度管理団体及び愛護会により、池田公園を含め29公園、26団体に御協力をいただいているところであり、日ごろの活動に感謝を申し上げます。

御質問の池田公園管理につきましては、ペットによる環境悪化に対し注意看板などの

設置を行っておりますが、今後も職員による巡視を強化し、マナー向上の啓発を図ってまいります。

また、芝生の張り替えにつきましては、御提案の鳥取方式と呼ばれるポット苗移植法は、低コスト、低維持費であることや、除草剤、農薬の使用が必要なく、環境に優しいことなどのメリットが挙げられております。このため、今後芝の種類、適性等の調査研究を行い、導入について検討を行ってまいります。

以上でございます。

### <まとめ>

○兵道頭司君 それぞれに当たって前向きな御答弁をいただきまして、大変にありがとうございます。

最初のミックスペーパーの件でございますけれども、やはり地域の方々がここまでごみの分別を自治会単位で徹底をしてきているということで回収回数、先ほど市長さんから、ミックスペーパーについては毎週回収に向けて検討していくという御答弁をいただきました、ぜひその方向で検討をしていただきたいということを一点要望させていただきます。

あと、公園管理についてでございます。私も初めの通告で公園管理のあり方ということで、投げかけようということでしたけれども、一つ最終的な規制ということも念頭に入れて論を展開しようというふうに思ったわけなんですけれども、やはりこういったペットのふん害、あるいは、ごみのポイ捨て、そういったものに対しては規制手段というのは最終的な方法だと。その前に地域としてやはりもっともっと地道に愚直に汗をかいていかなければいけないかなということで、地域住民によって一層公園をきれいにしていこうと。そうすることによって、汚そうとする心に心理的なブレーキをかけていこうと、そういう意味で質問をさせていただきまして、一層の清潔な公園にしていくということで、地域住民も協働のまちづくりという観点から、一生懸命これに我が地域は取り組んで今後もいきたいということで、一点、先ほどの芝生の張り替えにつきましても今後検討をしていただくという御答弁でしたので、ぜひその方向でお願いをしたいと思います。

さらにつけ加えて申し上げますと、この鳥取方式というのは、公園だけでなく、あるいは、学校等の校庭、それから、幼稚園、保育園の園庭、そういったものにも運用できるということが言われて、かなり注目を集めているようでございます。校庭の芝生化ということもこの政策がありまして、そういうものにも非常に役立つのではないかとということで、今回この池田公園の例を取り上げて、この鳥取方式について御提案をさせていただいたところです。今後とも御検討をぜひよろしく願いいたします。

あと、道路の問題でございますけれども、先ほど非常災害時の物資搬入路ということで、一つは美術館通りから新田小学校に抜ける道路、これは大型車の通行をよりよくす

るために、美術館通りの隅切り部分の改良、これについて検討をしていきたいということでもございました。

私ども地域住民としましても、非常時の大型車の通行、非常に懸念を抱いております。ハード的な部分についてはやはり行政の御支援、そういったものをいただきたい。そういった意味で、今後とも地域とぜひ協議をしていただいて、よりよい解決策、これを探っていただきたいなということをお願い申し上げます。

あと、通学路の問題につきましても、たまたま今回市道の竜王下河原長塚線、それについて取り上げましたけれども、前の3月におきましても、通学路の安全・安心の確保、これについては今後とも全市的に取り組んでいただきたいということを御提案申し上げているところでございます。次代を担う子供たちがほんとうに何の事故もなく、安心して安全にすくすくと育っていくということは、やはり甲府市にとっても大きな財産だということで、今回改めまして地域の身近な話題を取り上げながら、この通学路の安全、さらに点検、その他安全確保により一層取り組んでいただきたいと。そんな思いで今回取り上げさせていただいております。

いずれにいたしましても、私どもは身近な地域の話題を取り上げながら、これを一つ一つ解決していくことによって甲府市全体がより一層、地域課題解決によって、元気になっていくのではないかと、そんなことを思いながら今回質問させていただきました。今後とも私も市全体の、市政発展のためにこのような地域課題を取り上げながら一生懸命その解決、地域の皆さんと一緒に解決の努力をすることによってますます地域力を高めていく、そんなようなことで取り組みをしていきたいというふうに思います。

今回は多岐にわたって前向きに御検討、御回答いただきましてありがとうございます。感謝を申し上げまして、私の一般質問を以上で終わらせていただきます。ありがとうございました。